

令和7年度 学童クラブ待機児童対策計画

区市町村名

港区

令和7年5月1日時点の学童クラブ待機児童数

36人

1 学童クラブの待機児童が発生している原因

- ・小学生児童数や共働き世帯の増加等により、学童クラブ需要が増加している。
- ・放課後等の居場所として、平日午後5時までの放課GO→（放課後子供教室）や午後6時までの児童館一般利用、児童館等の直接一般来館利用等の選択肢の周知が不足している。

2 学童クラブの待機児童を解消するための対策

(1) 方針

- ・学童クラブのほか、放課GO→や児童館一般利用、児童館等の直接一般来館利用など、必要な家庭に必要なサービスを提供できるよう効果的な案内を行う。
- ・利用率に基づく弾力的な受け入れを行う。

(2) 具体策

- ・令和7年4月、桂坂学童クラブの定員を拡大（200人から230人）。
- ・令和8年度に、放課GO→学童クラブあかばね、放課GO→学童クラブほんむら、放課GO→学童クラブしばはまの定員を拡大する（予定）。
- ・小学校1～6年生を対象としたベビーシッター利用支援事業を活用する。
- ・学童クラブの日々の利用率に基づく弾力的な受け入れを行う。
- ・今後、民設学童クラブの整備促進をはかる。

3 「学童クラブの待機児童を解消するための対策」を講じることによる効果

- ・定員を拡大することで桂坂学童クラブ周辺の待機児童が減少する。
- ・夏休みなど臨時的な利用を想定して、4月当初から利用申込をする家庭等に対して、ベビーシッター利用支援事業という選択肢を用意することで、学童クラブ以外のサービスを充実させる。
- ・利用率に基づく弾力的な受け入れにより、待機児童を解消する。
- ・民設学童クラブでの受け入れにより、待機児童を解消する。

4 これまでの推移

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
小学生児童数	10441	10773	10930
増減	-	332	157
登録児童数	3284	3371	3353
増減	-	87	(18)
待機児童数	64	95	29
増減	-	31	(66)

5 今後の見込

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	累計	
小学生児童数	10947	11133	10834	10650		
増減	17	186	(299)	(184)		
申込児童数	3503	3512	3548	3535		
増減	-	9	36	(13)		
登録児童数	3280	3408	3443	3430		
増減	(73)	128	35	(13)		
確保策の手法	<ul style="list-style-type: none"> ・桂坂学童クラブの定員を30人拡大 ・ベビーシッター利用支援事業の活用 ・利用率に基づく弾力的な受け入れ ・放課後の過ごし方について動画を活用した効果的な周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・放課GO→学童クラブあかばね、放課GO→学童クラブほんむら、放課GO→学童クラブしばはまの定員拡大（予定） ・ベビーシッター利用支援事業の活用 ・利用率に基づく弾力的な受け入れ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ベビーシッター利用支援事業の活用 ・利用率に基づく弾力的な受け入れ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ベビーシッター利用支援事業の活用 ・利用率に基づく弾力的な受け入れ 		
待機児童数	36	18	0	0		
増減	7	(18)	(18)	0		(29)